



点字1頁上段

しょう しゃ じ き そ ちようさひよう かぞくよう
障がい者(児)基礎調査票 (家族用)

(お答えいただく前に)

点字1頁中段

○ この調査票は、障がいのある方のご家族などの親族の方がお答えくださ
い。

○ この調査はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますの
でご安心してお答えください。

○ お答えになりたくないことは、無理にお答えにならなくても結構です。

○ この調査は令和元年12月1日現在の状況でお答えください。

点字2頁上段

わからないことがありましたら、こちらまでお問い合わせください

おおさか し ふく し きょく しょう しゃ し さく ぶ しょう ふく し か たんとう
大阪市福祉局 障がい者施策部 障がい福祉課 (担当: ○○・○○)

でんわ 電話 06-6208-8071 ファックス 06-6202-6962

おおさか し けんこうきょく けんこうすいしん ぶ けんこう たんとう
大阪市健康局 健康推進部 こころの健康センター (担当: ○○)

でんわ 電話 06-6922-8520 ファックス 06-6922-8526

この調査票で「あなた」とは障がいのある方のご家族の方のことです

1 あなたのことにしておたずねします。

問 1 あなたの満年齢はおいくつですか。次の にお書きください。

さい
歳

問 2 障がいのある方との続柄についておたずねします。

あなたは、障がいのある方からみて、次のうちどなたにあたりますか。

あてはまる番号に 1 つだけ ○ をつけてください。

1. 親
2. 子
3. きょうだい
4. 配偶者（夫または妻）
5. その他の親族など

問 3 あなたの健康状態についておたずねします。

あてはまる番号に 1 つだけ ○ をつけてください。

1. 健康（特に体調が優れないところはない）
2. 入院や通院はしていないが、体調が優れない
3. 通院中
4. 入院中

点字5頁上段

問4 あなたの収入状況についておたずねします。

あなたが得ている主な収入は、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 給料・報酬（一般企業など）
2. 事業収入（自営業など）
3. パート・アルバイト
4. 年金・手当
5. 生活保護費
6. 財産収入（家賃や利子収入など）
7. 親族の扶養または援助
8. その他（ ）

点字6頁上段

問5 障がいのある方は現在、どちらにお住まいですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

ただし、障がいのある方が現在施設に入所されている場合は、入所する前に住まれていた区を選んでください。

- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 旭区 | 2. 阿倍野区 | 3. 生野区 | 4. 北区 |
| 5. 此花区 | 6. 城東区 | 7. 住之江区 | 8. 住吉区 |
| 9. 大正区 | 10. 中央区 | 11. 鶴見区 | 12. 天王寺区 |
| 13. 浪速区 | 14. 西区 | 15. 西成区 | 16. 西淀川区 |
| 17. 東住吉区 | 18. 東成区 | 19. 東淀川区 | 20. 平野区 |
| 21. 福島区 | 22. 港区 | 23. 都島区 | 24. 淀川区 |

点字 8 頁上段

問 6 障 がいのある方の満年齢はおいくつですか。次の にお書きください。

さい
歳

点字 8 頁下段

問 7 障 がいのある方の障 がいには、次のうちどれにあてはまりますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体 障 がい
2. 知的 障 がい
3. 精神 障 がい
4. 発達 障 がい ※ 1
5. 高次脳機能 障 がい ※ 2
6. 難 病 ※ 3

- ※ 1 発達 障 がい・・・自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障 がい、学習 障 がい、注意欠陥多動性 障 がい、その他のこれに類する脳機能 障 がいであって、その症 状が通常低年齢において発現するものを言います。
- ※ 2 高次脳機能 障 がい・・・頭部の病気や事故により脳に損 傷を受け、その後遺症として、記憶・意思・感情などの高度な脳の働 きに障 がいが見える状態を言います。
- ※ 3 難 病・・・治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病で厚生労働省が定める 361 疾病を言います。

問 8 障がいのある方の障がい者手帳の種類・等級は、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体障がい者手帳 1 級
2. 身体障がい者手帳 2 級
3. 身体障がい者手帳 3 級
4. 身体障がい者手帳 4 級
5. 身体障がい者手帳 5 級
6. 身体障がい者手帳 6 級
7. 療育手帳 A
8. 療育手帳 B 1
9. 療育手帳 B 2
10. 精神障がい者保健福祉手帳 1 級
11. 精神障がい者保健福祉手帳 2 級
12. 精神障がい者保健福祉手帳 3 級
13. 持っていない

問 9 ^{しんたいしょう}身体障 ^{しやてちよう}がい者手帳 ^もをお持ち ^{かた}の方 ^{かぞく}の家族 ^{かた}の方 ^{おたずね}します。

^{しょう}障 ^{かた}がいのある方 ^{しょう}の障 ^{しゅるい}がいの種類 ^ぶ（部位） ^{つぎ}は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに ^{ばんごう}○ ^{まる}をつけてください。

1. ^{しかくしょう}視覚障 ^めがい（^{ふじゆう}目が不自由）
2. ^{ちようかくしょう}聴覚障 ^{へいこう}がい・^{きのうしょう}平衡機能障 ^{みみ}がい（^{ふじゆう}耳が不自由）
3. ^{おんせい}音声・^{げんご}言語・^{きのうしょう}そしゃく機能障 ^{こえ}がい（^で声が出ない、ものがかめない）
4. ^{したいふじゆう}肢体不自由（^て手や^{あし}足が^{ふじゆう}不自由）
5. ^{ないぶしょう}内部障 ^{しんぞう}がい（^{しんぞう}心臓）
6. ^{ないぶしょう}内部障 ^{じんぞう}がい（^{じんぞう}腎臓）
7. ^{ないぶしょう}内部障 ^{こきゅうき}がい（^{こきゅうき}呼吸器）
8. ^{ないぶしょう}内部障 ^{また}がい（^{ちよくちよう}ぼうこう又は直腸）
9. ^{ないぶしょう}内部障 ^{しょうちよう}がい（^{しょうちよう}小腸）
10. ^{ないぶしょう}内部障 ^{めんえき}がい（^{きのうしょう}免疫機能障 ^{しんしょう}がい）
11. ^{ないぶしょう}内部障 ^{かんぞう}がい（^{かんぞう}肝臓）

問10 ^{しょう}障 ^{かた}がいのある方は^{じりつしえんいりよう}自立支援医療（^{せいしんつういん}精神通院） ^{じゅきゅう}を受給されていますか。

あてはまる番号に 1 つだけ ^{ばんごう}○ ^{まる}をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. ^{じゅきゅう} 受給している | 2. ^{じゅきゅう} 受給していない |
|----------------------------|-----------------------------|

2 介助等に関わっておたずねします。

点字 13 頁下段

問11 あなたが、障^{しょう}がいのある方に介助^{かいじょ}していることは何^{なん}ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 外^{がい}出^{しゅつ}する時^{とき}の介助^{かいじょ}
2. 入^{にゅう}浴^{よく}する時^{とき}の介助^{かいじょ}
3. 食^{しょく}事^じの介助^{かいじょ}
4. 排^{はい}泄^{せつ}の介助^{かいじょ}
5. 着^き替^がえの介助^{かいじょ}
6. 調^{ちょう}理^り・掃^{そう}除^じ・洗^{せん}濯^{たく}など^しの支^し援^{えん}
7. 通^{つう}院^{いん}先^{さき}で^{かいじょ}の介助^{かいじょ}
8. 入^{にゅう}院^{いん}先^{さき}で^{かいじょ}の介助^{かいじょ}
9. 医^い療^{りょう}的^{てき}ケア
10. コミュニケーシ^しョン支^し援^{えん}
11. 見^み守^{まも}り、声^{こゑ}か^かけ
12. そ^たの他^た（ ）
13. 介^{かい}助^{じょ}をしていない、介^{かい}助^{じょ}の必^ひ要^{よう}が^{かいじょ}ない

問12 あなたが、障 がいのある方を介助できない時など緊 急時はどのようにしていま
すか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 同居している家族や親族に介助をたのむ
2. 同居していない家族や親族に介助をたのむ
3. 短期入 所（ショートステイ）を利用する
4. ホームヘルプ（居宅介護など）を利用する
5. 通所している事業所などの職 員にたのむ
6. 障 がい者基幹相談支援センター（※）・相談支援事業所にたのむ
7. 友人・知人・近所の人に介助をたのむ
8. ボランティアに介助をたのむ
9. その他（ ）
10. たのめる相手がいらない

※ 障 がい者基幹相談支援センター… 障 がいがある方やその家族等からの相談に応じて、
福祉サービスの利用援助、権利擁護のために必要な援助、専門機関などの情 報 提 供を
行 うことにより、地域における生活を支援する基幹です。

問13 あなたは、障^{しょう}がいのある方を介助^{かた かいじょ}するうえで困^{こま}っていることや不安^{ふあん}なことはあります。か。

あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。

1. 通所^{つうしょ}先^{さき}などへの送^{おく}り迎^{むか}えがたいへん
2. 経^{けい}済^{ざい}的なこと
3. 他^{ほか}の用^{よう}事^じをする時^じ間^{かん}がない
4. 相^{そう}談^{だん}をする相^あ手^{いて}がいない、または相^{そう}談^{だん}しにくい
5. 同^{どう}居^{きょ}している他^{ほか}の高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}・障^{しょう}がいのある方^{かた}・乳^{にゅう}幼^{よう}児^じなどの世^せ話^わ
6. 病^{びょう}気^き・高^{こう}齢^{れい}などで健^{けん}康^{こう}・体^{たい}力^{りよく}が不安^{ふあん}
7. ストレスなどの精^{せい}神^{しん}的^{てき}な負^ふ担^{たん}が大^{おお}きく、介^{かい}助^{じょ}がで^かきない
8. い^いつ^つま^まで介^{かい}助^{じょ}で^かき^かる^るか^かが不安^{ふあん}
9. 障^{しょう}がい^{がい}や病^{びょう}気^きに^{たい}対^{じょう}する情^{じょう}報^{ほう}の^ふ足^{そく}
10. ど^どの^りよ^りう^うなサ^さー^さビ^びスを^り利^り用^{りよう}で^かき^かる^るか^かわ^わか^から^らない
11. 介^{かい}助^{じょ}（医^い療^{りょう}的^{てき}ケ^かアなど）を^か代^{だい}わ^わつて^かも^もら^らえ^える^{ひと}人^{ひと}が^いない
12. 深^{しん}夜^や帯^{たい}の介^{かい}助^{じょ}（医^い療^{りょう}的^{てき}ケ^かアなど）に^より、睡^{すい}眠^{みん}が^{じゅう}十^{じゅう}分^{ぶん}にと^れない
13. 特^{とく}に^いない
14. そ^たの^た他^た（上^{じょう}記^き以^い外^{がい}で^{こま}困^{こま}つて^かい^かる^ること^かなど^かお^か書^かき^かく^かだ^かさい）

問14 障がいのある方は普段、日中の時間をどのように過ごしていますか。

点字 18 頁下段

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学などに通っている
2. 一般企業、自営業、在宅勤務などで働いている
3. 通所事業など障がい福祉に関するサービスなどを利用している
4. 趣味、スポーツ、レクリエーションなどの活動をしている
5. 地域活動、ボランティア活動などに参加している
6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い（在宅勤務している方は除く）
7. 病院に入院している
8. 施設に入所している
9. その他（ ）

問15 問14 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学など

点字 20 頁中段

に通っている」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方が通われている学校などは、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所
2. 幼稚園
3. 認定こども園
4. 小・中学校（通常学級）
5. 小・中学校（特別支援学級）
6. 特別支援学校
7. 高等学校
8. 高等支援学校
9. 大学
10. その他（ ）

問16 問14 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学など

に通っている」に○をつけた方におたずねします。

現在通学等をしていて思うことは、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 療育、教育、訓練、支援等の情報が足りない
2. 通園、通学先での介助（トイレ・食事など）が不十分
3. 通園、通学先等への送迎にかかる負担の軽減
4. 通園、通学先等での指導・支援の仕方が心配
5. 友達との関係づくりがうまくできない
6. 学校卒業後の進路が心配
7. 余暇の過ごし方に困っている
8. 長期休暇の過ごし方に困っている
9. 医療的なケアが受けられない
10. 特にない
11. その他（ ）

問17 問14 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別高等学校、支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

放課後等の過ごし方は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童いきいき放課後事業
2. 放課後児童クラブ（学童保育）
3. ファミリーサポートセンター事業
4. 医療型児童発達支援
5. 福祉型児童発達支援
6. 放課後等デイサービス事業
7. 短期入所（ショートステイ）
8. 日中一時支援
9. 子育てサークルなど地域の子育て支援
10. その他（ ）
11. 特に利用していない

問18 問14 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

あなたが障がい児福祉に関するサービス等を利用して思うことは、次のうち
どれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用時間・利用量が足りない
2. 事業所が足りない・職員が足りない
3. ヘルパーや支援員の知識や技量などが不十分
4. サービス内容や利用料などに関する制度がわかりにくい
5. 利用時の手続きがわかりにくく煩雑である
6. 障がいの状態に応じたサービスが提供されない
7. 通所に時間や費用がかかるなど負担が大きい
8. サービス利用料の負担が大きい
9. その他 ()
10. 特にない

問19 問14 で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い（在宅勤務している方

は除く）」に○をつけた方におたずねします。

家にいることが多いのは、どこに原因があると考えですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 心身状況がよくないため
2. 他者との関わりに不安がある
3. 昼夜逆転している
4. 外出時や外出先での支援をたのめる人がいない
5. 出かけるところがない
6. 経済的な問題で外出できない
7. 原因がわからない
8. その他 ()

問20 問14 で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い（在宅勤務している方

は除く）」に○をつけた方におたずねします。

家にいることが多いことで、日常生活で困っていることは次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族に対して拒否があるため、コミュニケーションがとれない
2. 必要な医療を受けられない
3. 昼夜逆転していることで生活リズムがあわない
4. 一緒にいる時間が長く自分の時間が取れないため、気が休まらない
5. 家族への支配的な言動
6. 家庭内暴力、器物破損
7. 自傷行為や食の異常行動
8. 本人が社会参加できないことに不安がある
9. 経済的な問題
10. サービスの時間が足りない
11. 家族などで相談できる相手がいない（どこに相談していいかわからない）
12. 特にない
13. その他（ ）

問21 問14 で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い（在宅勤務している方は除く）」に○をつけた方におたずねします。

ご家族として、どんな支援や取り組みがあればいいと思いますか。あてはまる
番号すべてに○をつけてください。

1. 外出時障がい^{がいしゅつじしょう}を理解^{りかい}してくれる人の同伴^{ひと どうはん}
2. 話し相手^{はな あいて}になる人の訪問^{ひと ほうもん}
3. 気軽に連絡^{きがる れんらく}ができる電話窓口^{でんわまどぐち}や連絡^{れんらく}できるSNS^{えすえぬえす}など
4. 自由^{じゆう}で安心^{あんしん}して参加^{さんか}できる居場所^{いばしょ}
5. 困った時^{こま}や情報^{とき}が欲しい時^{じょうほう}に相談^ほにのってくれる相談専門窓口^{そうだんせんもんまどぐち}や訪問^{ほうもん}
6. 通院^{つういん}できない時^{とき}の往診^{おうしん}
7. 経済的^{けいざいてき}な支援^{しえん}
8. その他^{ほか}（ ）
9. 特^{とく}にない

3 相談先や情報の手についておたずねします。

問22 あなたが普段、相談をしている人はどなたですか。

点字 30 頁下段

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族や親族
2. 友人・知人・職場の同僚
3. 近所の人・地域の人
4. 区役所・保健福祉センターの職員
5. 保育所・幼稚園・学校の職員
6. 医療機関の職員
7. 福祉サービス事業所などの職員
8. 障がい者基幹相談支援センター・相談支援事業所・相談機関の職員
9. 障がい者団体や家族会の人
10. その他（ ）
11. 相談相手がない

4 障がい者施策全般のことなどについておたずねします。

問23 あなたは、家族の立場からみて、障がいのある方が、障がいを理由に不快（差別）

点字 32 頁上段

や不便さを感じていると思った時はどんな時ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、○をつけた次の欄に、具体的な事例を書いてください。

1. 教育を受ける時
(具体例：☐)
2. 働こうとした時、働いている時
(具体例：☐)
3. 趣味・スポーツなどの活動をする時
(具体例：☐)
4. 公共交通機関を利用する時
(具体例：☐)
5. 公共施設（建物・道路・公園など）などを利用する時
(具体例：☐)
6. 福祉サービスを利用する時
(具体例：☐)
7. 医療機関を利用する時
(具体例：☐)
8. 必要な情報を探したり情報提供を受ける時
(具体例：☐)
9. 住宅の購入または住宅に入居する時
(具体例：☐)
10. 政治活動や選挙に参加する時
(具体例：☐)
11. 家族や周囲の人の理解を得ようとする時
(具体例：☐)
12. 買物や外食などをする時
(具体例：☐)
13. その他
(具体例：☐)
14. 特にない

問24 障^{しょう}がいを理由^{りゆう}とした差別^{さべつ}や偏見^{へんけん}をなくすためには、どのようなことが必要^{ひつよう}だと思^{おも}いますか。ご自由^{じゆう}にお書き^かください。

問25 あなたは、災害^{さいがい}時などに備^{そな}え、日ごろからどのような準備^{じゅんび}をしていますか。
あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。

1. 水^{みず}・食料^{しょくりょう}・日用品^{にちようひん}・医薬品^{いやくひん}などの準備^{じゅんび}ができている
2. 避難所^{ひなんしょ}までの経路^{けいろ}や方法^{ほうほう}の確認^{かくにん}ができている
3. 家族^{かぞく}や親族^{しんぞく}などに手助け^{てだす}が求められるようにしている
4. 特^{とく}にしていない
(具体的な理由^{ぐたいてき りゆう}：)
5. その他^た ()

問26 あなたが地震や台風などの災害時に必要と思うことは次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 障がいに応じた情報提供
2. 安全な場所（避難所など）への誘導や介助などの支援
3. 避難所の建物・設備などの整備
4. 人工呼吸器など医療機器の電源の確保
5. 避難所での介護やコミュニケーションなどの人的支援
6. 障がいのある人を対象とした避難所の確保
7. 医療的ケアの充実と医薬品などの提供
8. 災害時における避難支援プラン（個別計画）（※）の作成
9. その他（ ）
10. 特にない

※ 避難支援プラン（個別計画）…災害時における具体的な支援内容や支援者、避難方法を記載したものをいいます。

問27 あなたが災害時などの緊急時に協力を求めることができる相手はどなたですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人・職場の同僚
2. 近所の人・地域の人
3. 区役所・保健福祉センターの職員
4. 保育所・幼稚園・学校の職員
5. 医療機関の職員
6. 福祉サービス事業所などの職員
7. 障がい者基幹相談支援センター・相談支援事業所・相談機関の職員
8. 障がい者団体や家族会の人
9. 見守り相談室の職員
10. その他（ ）
11. 協力を求めることができる相手がいない

問28 あなたが障がい者施策全般について望むことは何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ホームヘルプサービスの充実
2. 日中活動の場の充実
3. ショートステイサービスの充実
4. グループホームの充実
5. 相談支援体制の充実
6. 障がい福祉サービスの利用者負担の軽減
7. 地域移行支援（※1）の充実
8. 就労支援の充実
9. 所得の保障
10. 交通バリアフリーなどの福祉のまちづくりに基づく環境整備
11. 暮らしやすい住宅の整備
12. 保健・医療・リハビリテーションの充実
13. 障がいの特性に配慮した情報提供の充実
14. 外出時の支援の充実
15. 趣味・余暇活動の場の確保
16. 高齢障がい者支援の充実
17. 夜間・休日・緊急時の連絡・相談支援体制の確保
18. 地域での見守り体制の充実
19. 障がいに対する理解を深めるための啓発・広報の充実
20. 成年後見制度などの権利擁護の充実
21. 災害時などの緊急時の防災対策
22. 差別解消の推進
23. 子育て等の支援の充実
24. 認定こども園・幼稚園・保育所等への入所・入園や入学等の受け入れ体制の整備
25. 親なき後の支援の充実
26. その他（ ）
27. 特にない

※1 地域移行支援・・・施設や病院を出て、自分の住みたいところで暮らすための支援です。

問29 障がい者施策全般についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

「本人用調査票」もいっしょに返送用封筒に入れて、

切手を貼らずに令和元年12月20日（金）までにポストにお入れください。